



梅雨が明け、すっかり夏らしい暑さが続くようになりました。これから益々暑くなりますので、体調を整えて暑さに負けないよう働き掛けていきたいと思ひます。木陰の砂場では、シャワーや桶を使って水を流し、泥や水でダイナミックに遊ぶ姿もありました。「土が固まるから、崩れないで深く穴が掘れるよ」「池みたいになったね」という気付きや、泥を腕に塗る・水を自分に掛ける等、普段の遊びでは中々出来ない事を自由に出来る体験が、遊びを試行錯誤し、創造する事の面白さに繋がっています。挑戦する楽しさ、難しさ、その思い一つ一つに共感しながら、子ども達の遊びを見守っていききたいと思ひます。

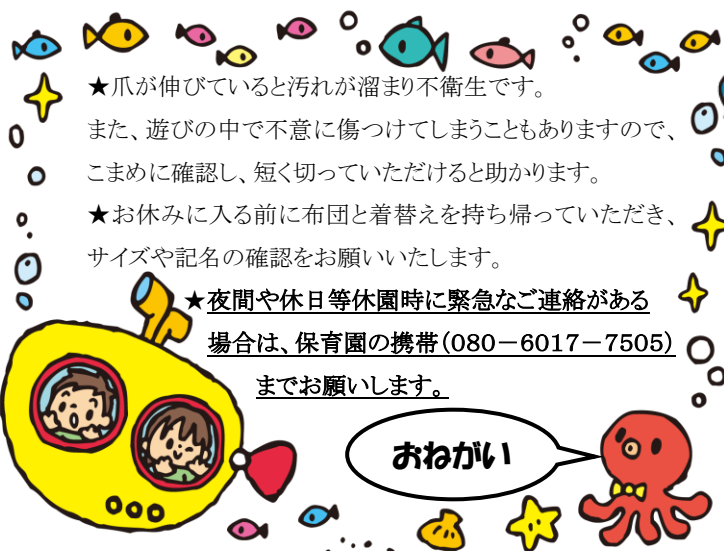
【8月の予定】

3日(火)誕生会
4日(水)交通安全教室(3・4・5歳児)
5日(木)食育「ピザ作り」(3・4・5歳児)
6日・27日(金)体操教室(3・4・5歳児)
26日(木)学びタイム(5歳児)
31日(火)避難訓練

10日(火)～20日(金)1号認定夏季休暇

【9月の予定】

7日(火)誕生会
9日・16日(木)学びタイム(5歳児)
10日・17日・24日(金)体操教室(3・4・5歳児)
14日(火)避難訓練(不審者対策)



★爪が伸びていると汚れが溜まり不衛生です。

また、遊びの中で不意に傷つけてしまうこともありますので、こまめに確認し、短く切っていただくと助かります。

★お休みに入る前に布団と着替えを持ち帰っていただき、サイズや記名の確認をお願いいたします。

★夜間や休日等休園時に緊急なご連絡がある場合は、保育園の携帯(080-6017-7505)までお願いします。

おわかい

早寝早起きで 毎日元気！

1号認定夏季休暇や、お盆休み等、少し長いお休みに入るご家庭も多いかと思ひます。そんな時期は、つい生活のリズムが乱れがちです。生活の乱れは体の抵抗力を下げ、夏バテを引き起こしたり、体調不良から機嫌が悪くなってしまうかもしれません。ご飯の時間、起床・就寝の時間のルールを決めたりしながら生活リズムを整えて、元気に夏を乗り切りましょう！

ご家庭で出来る

「非認知能力」

を育てる遊び

◎しつけは大切？

「我慢する力」は様々な場面で必要になる大切な力です。しかし、それは「厳しいしつけ」で培われる物ではありません。厳しいしつけでは、怒られるのが怖いからしなないだけで、本質的に自分の気持ちをコントロール出来ていないのです。「我慢する力」は「自分の感情をコントロールする力」とも言い換えられます。子どもの「イヤイヤ」な気持ちを受け止めた上で子どもが自分で気持ちを切り替えられる選択肢を提示する事で、感情をコントロールする力へ繋がっていきます。また、今すぐ上手く気持ちを抑える事が出来なくても大丈夫。「自分の気持ちを分かってくれる大人がいる」という安心感が、とても大切なのです。

自然・いきものと遊ぼう



子どもは自然を体で味わいます。花を摘み、葉っぱを潰してまごとしたり、落ち葉を集めて空へ飛ばしてみたり…日ごと、季節ごとに姿を変え、子どもの知的好奇心や思考力を刺激してくれます。

生き物と触れ合う時、子どもは自分を相手に合わせることにあります。相手に関心を寄せ、向き合う、知りたいと思う事で、多くの事を学びます。

「ビニール袋は万能アイテム」

葉っぱや木の実を集めたり、虫を持ち帰ったり、バケツ代わりに水を運んだり…ビニール袋一枚さえあれば、いつでもどこでも遊びは広がります。



「虫を観察してみよう」

夏の虫「セミ」は今の時期が絶好の観察チャンス！昼間よくセミが鳴いている木では、夜に羽化する神秘的な光景を見られる可能性が高いそうですよ。ぜひ、お子さんと一緒に見に行ってみませんか？



「瓶に詰めてみよう」

外遊びでの戦利品、綺麗な瓶に入れてみませんか？中に集めてみるだけで、子どもにとってワクワクする楽しい遊びになります。お家で「瓶に入れる」目標が出来る事で、「お家に帰ったら瓶に入れよう」と遊びを一区切りさせるきっかけとしても利用できそうですね。



※参考文献「非認知能力を育てるあそびのレシピ」

7月の子ども達の姿

毎月2クラスずつ紹介していきます。

うさぎ組

●夏ならではの遊びを楽しむ。

(7月のねらいより)

・水に触れ、冷たさや心地良さを感じながら、保育教諭や友達と一緒に水を掛け合ったり、ジュースに見立ててやりとりをする等、夏ならではの遊びを楽しむ姿が見られています。



ペットボトルに水をくんだり、流したり、お友だちに水を配ったりして、水に触れる事を楽しみました。



「〇〇ジュースにしよう」等見立てて遊ぶ姿が見られました。



ペットボトルの穴から水が出る様子を見て、「雨みたいだね～」と友だちとやりとりをしていましたよ。

らいおん組

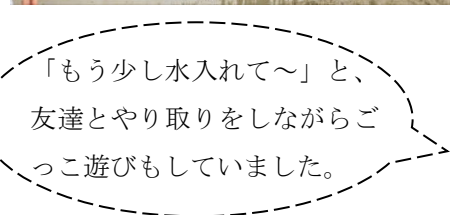
●水、泥遊びを思い切り楽しむ。

(7月のねらいより)

・水や泥の感触を手足で感じながら、楽しんでいました。また、自分で水を汲んで泥や川を作ったり、どのようにすれば硬い泥団子が作れるのかを試行錯誤したりと、様々な発見があり、工夫する姿も多く見受けられました。



「ぐちゃぐちゃする～」裸足だと気持ち良い」等と、泥の感触を楽しんでいました。



「もう少し水入れて～」と、友達とやり取りをしながらごっこ遊びもしていました。



穴を掘って入れた水が溢れた様子を見て「長く掘って川にしよう」と、友達と協力して川作りをしていました。

